

新日本スポーツ連盟沖縄県連盟設立宣言

「新日本スポーツ連盟を沖縄に」という目標に、6年半の期間かけて準備をしてきました。途中、コロナ禍にも見舞われましたが、全国や地方の連盟役員の方々のご支援のもと、沖縄県設立準備委員会の会議を開催し議論を重ねてきました。そして、わたしたち設立準備委員会のメンバーは、ここに新日本スポーツ連盟を沖縄県に設立する決意をしました。

とは申しましても、現在の段階で、県連盟の役員予定者は5名程の候補者しかおりません。未だ種目のクラブが1つもない状態からのスタートになります。「大丈夫ですか」と言われそうですが、全国の連盟の仲間たちのご協力やご支援があれば大丈夫だと確信しています。

さて、本日7日早朝、ミラノ・コルティナ冬季パラリンピックが開幕しました。どんなドラマや感動、人間讃歌が待っていることでしょうか、楽しみです。

一方、1週間前には、アメリカ軍・イスラエル軍が、圧倒的な軍事力で、昨夏にすでに破壊されていたイランを攻撃し始めました。2月28日には1000ヵ所以上も攻撃したとされます。沖縄に当てはめて考えると、沖縄県には41の市町村がありますから、1000ヵ所以上の爆撃とは、離島を含む各市町村に24回以上の攻撃が行われた計算になります。この戦争に、終息は見えません。

オリンピック憲章には、「オリंपイズムの目的は、人間の尊厳を保つことに重きを置く平和な社会の確立を奨励することを視野に入れ、あらゆる場で調和のとれた人間の発達にスポーツを役立てることにある」と謳われています。スポーツは、平和の象徴とも言われます。

人間の体の持つ力と技で、対等・平等な空間の中で、スポーツの道具を操作しながら、チーム同士あるいは個々で、互いの能力を最大限に発揮して、競い合います。そこには、対する相手は、自分の力と技を高めてくれる存在であり、自分は相手を高めているという関係があります。人間が人間を讃えあっているということが出来ます。

戦争は、政治的行為です。政治的指導者によって引き起こされています。自然災害とは違うのです。だから、止めることができると思うのです。

新日本スポーツ連盟は、人間が人間を讃えあう身体的活動の中で育ってきた”スポーツは、平和とともに”ある文化であると考えています。スポーツは、誰にとっても対等・平等な世界であり、種目ごとのルールに基づいて、自分の能力を自由に発揮し展開されます。現実の社会には、差別や不平等、不自由で抑圧的な世界があります。「スポーツには、平等とは、公正とは、人間の尊厳や自由とは何かを、考えさせてくれるものがある」と言えないでしょうか。

そうしたスポーツ文化がもっている価値を受け継ぎながら、新日本スポーツ連盟の目的でもある「健康で文化的な生活をめざし、国民の基本的権利としてのスポーツの発展をはかる」連盟組織が、地上戦を体験し平和を希求する沖縄に誕生することの意味は大きいと思います。

スポーツを愛する県民の皆さま、新日本スポーツ連盟役員及び連盟員の皆さまのお力を、本日誕生する沖縄県連盟にお寄せくださるよう、お願いします。

ここに、新日本スポーツ連盟沖縄県連盟の設立を宣言します。

2026年3月7日